

米子工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	アカデミックライティング	
科目基礎情報							
科目番号	0066		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		1		
教科書/教材	Science Quest (成美堂)、配布資料						
担当教員	鈴木 章子						
到達目標							
1) Topic sentence, supporting sentences, concluding sentenceのそろったパラグラフが書ける。 2) 理工系のリーディング教材を自分の力で読み、内容が理解できる。 3) 理工系のリーディング教材の内容に関連したショートエッセイが書ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価基準 1	Topic sentence, supporting sentences, concluding sentenceのそろった論理的なパラグラフが書ける。		Topic sentence, supporting sentences, concluding sentenceがそろっているが、論理的に改善の余地がある。		Topic sentence, supporting sentences, concluding sentenceのそろった論理的なパラグラフが書けない。		
評価基準 2	話の内容を要約しペアに説明できる。		話の内容をペアと協力して要約できる。		話の内容が読み取れていない。		
評価基準 3	パラグラフの構成を意識して、内容のあるエッセイが書ける。		パラグラフの構成を意識して、内容のあるエッセイを書こうとしているが改善の余地がある。		パラグラフの構成が意識されておらず、エッセイの内容も分かりづらい。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E-1 JABEE f							
教育方法等							
概要	3年までで学んだ英語の知識を生かし、パラグラフを論理的に書けるようになること、また理系トピックの長文を読めるようになることを目標とする。クラスメートと協力しながらライティング、リーディングの力を伸ばすことを目指す。						
授業の進め方・方法	授業ではライティング、リーディングの課題が出される。その課題を基に授業が進むため、家庭学習の時間を取ること。						
注意点	授業前に課題を行うこと。授業はペアワーク中心に行うので、クラスメートと協力して学んでほしい。受講者の興味などによってリーディング題材、進度を調整することがある。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、パラグラフ構成について		英語のパラグラフ構成がどのようになっているかわかる。		
		2週	topic sentence, supporting sentences, concluding sentence		topic sentence, supporting sentences, concluding sentenceの適切な書き方がわかる。		
		3週	paragraph to essay, paraphrase and summarize		パラグラフを発展させ、エッセイの構成が理解できる。パラフレーズ、サマリーの仕方が理解でき、自ら書ける。		
		4週	Reading 1、1～3週で学んだ基本事項の確認		1つ目のReadingを読んで、1～3週で学んだ基本事項の確認を行う。		
		5週	Reading 2		事前課題の共有、英文の内容把握を行う。		
		6週	In-class writing		reading 2に基づくライティング課題の構成、執筆、相互評価を行う。		
		7週	Reading 3		事前課題の共有、英文の内容把握を行う。		
		8週	中間までの学習内容の復習		中間までの学習内容の復習を行う。		
	2ndQ	9週	In-class writing		reading 3に基づくライティング課題の構成、執筆、相互評価を行う。		
		10週	Reading 4		事前課題の共有、英文の内容把握を行う。		
		11週	In-class writing		reading 4に基づくライティング課題の構成、執筆、相互評価を行う。		
		12週	Reading 5		事前課題の共有、英文の内容把握を行う。		
		13週	In-class writing		reading 4に基づくライティング課題の構成、執筆、相互評価を行う。		
		14週	期末までの学習内容の復習		期末までの学習内容の復習を行う。		
		15週	期末試験		学習し、演習で練習してきたライティング、リーディングのスキルを評価する。		
		16週	答案返却およびまとめ		試験へのフィードバックを行うとともに、授業全体の振り返りを行う。		
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					

		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	前12
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前2,前3,前5,前6,前7,前9,前10,前11,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前14,前15,後14,後15
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前1,前2,前3,前5,前6,前7,前8,前10,前11,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	前4,前9
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前14,前15,後14,後15
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	前13,後12,後13

				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	前13,後12,後13
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前12,後14,後15

評価割合

	writing assignment	reading assignment	final test				合計
総合評価割合	40	30	30	0	0	0	100
基礎的能力	40	30	30	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0